

令和2年産農作物共済の実績（概要）について

1 水稻

(1) 引受実績

引受戸数は916千戸（対前年92.9%）、引受面積は1,097千ha（対前年93.2%）であり、引受面積の上位3県は新潟県（105千ha）、北海道（85千ha）、秋田県（59千ha）となっている。また、共済金額は790,790百万円（対前年96.7%）であり、面積引受率は71.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は70千戸、同面積は41千haとなっており、共済金は8,274百万円となった。

被害率は、戸数被害率が7.6%。金額被害率は1.0%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）0.8%と比べると高い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、山口県（13.3%）、奈良県（8.9%）、長崎県（7.2%）、佐賀県（6.7%）、大分県（6.7%）であり、主な被害は7月の集中豪雨や台風等に伴う風水害、トビイロウンカやスクミリンゴガイ等による虫害などであった。

2 陸稲

(1) 引受実績

引受戸数は18戸（対前年60.0%）、引受面積は7ha（対前年57.4%）、共済金額は1,878千円（対前年55.6%）であり、面積引受率は1.1%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は3戸、同面積は1haとなっており、共済金は56千円となった。

被害率は、戸数被害率が16.7%。金額被害率は3.0%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）6.1%と比べると低い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは茨城県（3.7%）であり、主な被害は干害であった。

3 麦

(1) 引受実績

引受戸数は36千戸（対前年92.2%）、引受面積は222千ha（対前年94.4%）であり、引受面積の上位3県は北海道（116千ha）、佐賀県（18千ha）、福岡県（18千ha）となっている。また、共済金額は126,076百万円（対前年102.3%）であり、面積引受率は80.2%となっている。

（２）共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は８千戸、同面積は３８千 ha となっており、共済金は２, 902 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 22. 5%。金額被害率は 2. 3%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）7. 5%と比べると低い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、千葉県（19. 6%）、茨城県（16. 4%）、岩手県（14. 7%）、秋田県（12. 0%）、富山県（7. 8%）であり、主な被害は土壌湿潤害、雨害湿潤害、風水害及び病害などであった。